

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月27日(月) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月23日(金)～27日(月)

- 27日(月) 15時現在、州内の感染者数は前日比981人増の2万1696人で、うちサンパウロ市が1万3989人、オザスコ市が598人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が498人と続く。死者数は同125人増の1825人、うちサンパウロ市が1172人と州全体の64%を占めているが、同比率は前日より1%減となった。サンパウロ州政府は死者の発生が州内陸部や沿岸部に広がっていると分析。感染が確認されているのは州内645市のうち288市、死者は131市、入院感染患者数も約8千人と増加傾向にある。感染患者向けのICUの占有率は59.8%、サンパウロ大都市圏内では同78.4%。
- 27日(月)、サンパウロ州政府は、サンパウロ大学医学部附属クリニカス病院の感染患者向けICU病床を現在の200床から300床に拡充すると発表。民間や他病院を通じて2400万リアル以上の寄付を受けており、5月前半にまず40床を整える。同病院はこのほか専用の一般病床を700床以上確保している。同日、コーバス・サンパウロ市長も市内の病院のICU病床を拡充中と説明。5月末までに1361床が追加される予定(うち半分が4月末までに準備される予定)。
- 23日(金)、サンパウロ州政府はサンパウロ大学工学部の技術者グループが2時間で製造可能な緊急用の人工呼吸器「Inspire」を開発したと発表。コストは1千リアルと安価。今後必要な承認手続きを進める。
- 24日(金)、サンパウロ州政府は州内各市がコロナウイルスの感染拡大に伴う観光業の影響を最小限に抑えるべく対策を検討中と発表。州観光局が間に入り、感染終息後を見据えて各市で良案の共有を進める。
- 25日(土)、サンパウロ市は市内の感染死者数が1千人を超えたことを踏まえ、社会連帯プログラムの一環として3日間を公式服喪とする条例を同日付で公布。併せて、同市は各業界から横断的に協力を求めつつ、約10万の食料基本セットを貧困層に毎月配布することを公示。最低3か月間実施する予定。
- サンパウロ大都市圏の社会的隔離実施率は25日(土)が52%、26日(日)が58%であった。
- 27日(月) 15時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は前日比24人増の509人。

2 マット・グロッソ州

4月22日(水)～27日(月)

- 27日(月) 17時現在、州内の感染者数は前日比6人増の256人、うち州都クイアバ市が126人、ロンドノーポリス市が38人、シノピ市が19人と続く。入院患者数は16人。死者数は26日(日)に続き、27日(月)午後に11人目(61歳男性、シノピ市、高血圧と糖尿病を患っていた)が確認された。
- 22日(水)、同州政府は、州内公立病院(州が契約した民間病院含む)のコロナウイルス感染患者向けの専用病床数を計1273床と発表。うち326床がICUで、5月4日(月)以降に全てが稼働予定。
- 23日(木)、同州政府は、州内公立病院のコロナウイルス感染患者向け病床の占有率が30日(木)まで60%以下だった場合を目安として、5月4日(月)より学校を再開する予定と発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月23日(金)～27日(月)

- 27日(月) 午前11時現在、州内の感染者数は前日比4人増の238人、うち州都カンポ・グランデ市が126人、トレス・ラゴアス市が41人と続く。死者は新たに8人目(76歳女性、パラナイバ市、肺に慢性疾患有)、9人目(56歳男性、ドウラード市。トカンチンス州内の病院で死亡)が確認された。なお、同州内の感染者確認は3月に平均2.7人/日だったが4月は26日(日)現在で同7.2人/日と増加。
- 23日(金)、同州政府は過去2週間の州内の社会的隔離実施率を平均40～50%と発表。実施率の低かった市はその後の感染が増えているとして、改めて同措置の遵守を呼び掛け。(了)